

JCHO湯布院病院 地域協議会議事録

開催日時 令和3年3月24日(水) 18時30分～19時20分(閉会)

開催会場 JCHO湯布院病院 2階 第1・2会議室

出席者 外部委員 7名

日野病院 院長 日野修一郎 様
歯科吉村医院 名誉院長 吉村幸治 様
民生委員 平尾雄一 様
自治区会長 後藤久生 様
大分県中部保健所長 前田泰久 様
由布市健康増進課長 武田恭子 様
由布市福祉事務所長 馬見塚美由紀 様

院内委員 6名

院長 三原太
副院長 井上龍誠
副院長 針秀太
看護部長 永野美智代
事務長 小野宏
地域連携室長 佐藤史

配布資料 議事次第・概況書・令和2年度活動実績

冒頭、病院より地域協議会について委員名簿、議事録(匿名化)をホームページで掲載する旨の説明がなされ、了承を得た。

1. 院長挨拶

今年度はコロナ禍での診療となったが、4月には電子カルテの導入、7月には整形外科医の増員、11月には眼科新設と診療機能を拡張してきた。

本日は委員の皆様からのご意見を伺い、更なる機能向上に努めて参りたい。

2. 委員紹介

委員名簿のとおり委員紹介

3. 議題1 「湯布院病院の現況について」 ※配布資料「湯布院病院概況書」
議題2 「令和2年度の活動実績について」 ※配布資料「令和2年度の活動実績」
(病院より)

- ・令和2年4月1日より副院長に整形外科 針秀太が就任
- ・同年4月に消化器内科、11月に眼科を新たに標榜した。
- ・全職員292名で、医師に関しては内科7名・整形外科3名の10名体制。
整形外科においては、同年7月に1名増員され、2名体制から3名体制となった。

(病院委員より)

整形外科は2名体制下では手術中の救急症例に対応できず、地域の皆様にはご不便をお掛けしてきたが、令和2年7月より3名体制となったことで対応が可能となった。

また、昨今整形外科も専門分野が細分化されているが、当院は広く全ての整形外科疾患に対応している。さらに大分大学との連携で高度な疾患にも対応可能なので、ご相談頂きたい。

(委員との質疑応答)

- ・整形外科では大変お世話になっており、認知症の患者さんも快く受けて頂いている。
 - 4月より心療内科の常勤医が着任するので認知症の患者さんも対応可能だ。(病院)
- ・コロナ禍で一般的には健診の受診率が低いですが、湯布院病院さんは飛躍的に増加している。
 - 昨年まで外部委託していた健診業務を院内に切り替えたことによる増加であり、職員以外
の受診者が増加したわけではない。(病院)
- ・フレイル対策について、具体的にどのような取り組みをなさっているのか。
 - 例年、市民公開講座などを通じて取り組みを行ってきたがコロナ禍で思うようにいかない。
県リハの事業でのラジオ放送などを通じて啓蒙に努めている。(病院)
- ・温泉プールは外部には開放していないということだが、町民への開放を希望する。
 - おっしゃるとおり現状、一般開放はしていない。(病院)
- ・保養ホーム跡地の利用方針は決定してるのか。
 - 当該施設は本部管理となっており、当院では建物管理に努めているのみ。(病院)
- ・当時、耐震を満たさない為、継続利用はできないということをお聞きしていた。
 - 耐震は満たしていると認識している。当時のご説明についてはあらためて認識を確認
する。(病院)
- ・保養ホームの利用について、新型コロナワクチンの接種会場を検討するにあたり、さまざまな
可能性を探ってきたが、長期間の借用が可能で且つ、市民が常時利用していない施設でな
ければならず、湯布院病院さんには何度もお願いに上がった。
本部との調整で大変苦勞をお掛けしたが、利用の許可を頂き感謝している。
- ・どの医療機関に何の診療科があるのか市民に十分にアナウンスされていない。湯布院病院に
ということではなく、行政として取り組んでもらいたい。

- 機会あるごとに広報に努めているが、不十分であるという声には真摯に対応する。(病院)
- 貴重なご意見としてお預かりする。(行政委員)
- ・新型コロナ感染症について、大分県内ではまだ落ち着いているが、いつ再燃してもおかしくない状況だ。由布市内ではかなりの患者を診て頂いており、感謝している。
由布市内で入院できる場所があると良いと考えている。
 - 検討する。(病院)
- ・コロナ禍に関わらず由布市関連の地域への支援活動には大変ご尽力頂いており、感謝している。
- ・福祉事務所の中に高齢者支援課があり、より具体的なご意見を届けられるのではないかと考えている。令和3年度の地域協議会委員選定の際にはご検討頂きたい。
 - 委員選定の際に検討させて頂く。(病院)
- ・コロナ禍の自粛生活で高齢者が弱っている印象を受けており、孤独死も4件あった。
 - 体調が悪い場合はいつでもご連絡頂ければ対応するし、体力低下の方については症状に応じて短期間のリハビリなども可能と考える。ぜひ上手く利用して頂きたい。(病院)
 - 介護保険下でのきめ細やかな対応も必要ではないか。(委員)

議題3「その他」

(井上副院長)

35年間の永きに渡り皆さんには大変お世話になったが、令和3年3月31日を以て副院長職を辞すこととなった。引き続き、湯布院病院には役割を持って務めさせて頂くこととなっているのでご報告する。

(前田保健所長)

県の人事で4月より西部保健所へ異動となる。

中部保健所には4年間の任期であったが、後任は軸丸所長に委ねることとなる。

引き続き医療行政へのご協力をお願いしたい。

以上